

# まいづるパート II

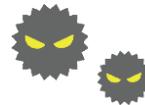
通算No. 3(R4. 5.16)

令和4年度 No.3 校長室だより

霧島市立国分小学校長

## ☆ コロナウイルス感染症に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症につきましては、なかなか終息する気配がみられませんが、社会全体としては様々な面で制限が解除されつつあります。ただ、解除といっても「**感染症対策をしっかりとったうえで**」という条件も付いていますので、今後も継続して感染症対策をお願いいたします。



### 【対策】

- 登校前の家庭での**検温**等の健康観察を確実に行う。
- マスク着用、うがい・手洗い、消毒、換気**等を確実に行う。(家庭でも学校でも)
- 家族に風邪症状**があり、病名がはっきりしていない場合、**出席停止**となります。(病院受診し、陰性だった場合でも熱が続いているなどの不安があると訴えた場合は出席停止で対応いたします。)
- 三密**(密集・密接・密閉)を極力避けたり、長時間になつたりしないようにする。
- 特に飲食の際は、**黙食**にこころがけ、会話の際はマスクを着用する。 など

### 【罹患したり、濃厚接触者となつたりした場合の対応】

- PCR検査を受けることになる例(大きく二通り考えられます。) ※ 職場の定期検査や不安があつての自主的な検査を除く。
  - 本人が熱などの風邪症状があつて**病院を受診し、検査を受けることになった場合**
  - 日常的に接触のある人(職場やクラス・部活の仲間、家族等)が陽性になり、本人が**濃厚接触者**(疑い含む)となつた場合  
※ どちらにせよ、検査結果が出るまでは自宅待機等となります。(検査を受けることになった場合は学校にも連絡を!)
- ケースによる対応
  - 1の①のケースで、**陽性判定が出た場合、病院や保健所からの指示が出ます**ので、その指示に従い、学校へも連絡をします。自宅待機やホテル療養、入院等が考えられます。陰性判定が出た場合、特に対応は必要ありません。  
1の②のケースでは、本人に**自覚がある場合**(家族が陽性と分かっている場合など)と、**自覚がない場合**(部活動等の仲間や学級の誰かが陽性など)があると考えられます。
    - 自覚がある場合、保健所からの指示**がありますので、その指示に従うとともに、学校にもその指示内容を連絡することになります。
    - 自覚がない場合**で、例えば学校や学校外活動等で陽性者が発生した場合は、学校や学校外活動等の代表者から保健所に、各種情報を提供し、濃厚接触者や疑いのある人を特定することになります。保健所から学校や学校外活動の代表者に、濃厚接触者や疑いのある人へPCR検査を行うことを伝えるよう指示がありますので、学校や代表者から該当者に連絡することになります。(ただ、最近はそのままで追わずに、陽性者からの聞き取りのみで対応することが多いようです。)
- 検査結果による対応について
  - 2の①の自覚があるケースで、濃厚接触者となつてPCR検査を受けた場合
    - 陽性だった場合は、保健所から直接連絡**が来ますので、その指示に従い自宅・ホテル・病院での療養になります。(出席停止)家族は濃厚接触者となります。
    - 陰性だった場合でも、濃厚接触者と指定されている場合は**、念のために陽性者と最後に接触のあつた日の翌日から**10日間の自宅待機**となります。なお、濃厚接触者を自宅内で隔離できる場合は、濃厚接触者となつていない家族(兄弟姉妹等)は通常通り行動できますが、隔離できない場合は、同じように10日間の自宅待機となります。(出席停止)ただし、濃厚接触者を隔離できる状況でも、保護者が心配で学校を休ませたいと申し出た場合は自己都合欠席(事故欠)となります。
  - 2の②の**自覚がないケース**で、濃厚接触**疑い**となつて**PCR検査を受けた場合**
    - 陽性だった場合は、上記と同じ対応になります。
    - 陰性だった場合**、濃厚接触者の対応とは異なり、**通常通りの行動**ができます。家族も同様です。なお、心配だということでも休ませる場合は、事故欠となります。
- 学校・学級の閉鎖等について  
基本的にはインフルエンザと同じような対応になりますが、まだ解明されていないこともたくさんあり、警戒感をより強くもって判断することになります。  
ただし、最近**極力教育活動を止めない方針**もあり、以前のように頻繁に閉鎖という判断になることはないようです。もし、閉鎖になった場合は、その間、接触者のより確かな確定や必要な子のPCR検査(結果確認を含む)、校内の消毒等を行いながら、今後の対応等を考えていくこととなります。

### 【その他】

学級閉鎖や陽性者が発生した際に、誰が罹患したのか聞いてくる事例が多数あるようですが、個人情報でもありますが、非常にセンシティブなものですから、**学校側からお伝えすることはできません**のでご理解ください。(ただし、感染防止の注意喚起を行うために、国分小メール等で最低限の情報は発信する予定です。)なお、誤った知識や不確かな情報による不当な差別や偏見、いじめ、SNS等による心無い書き込みなどは、決してあってはならないことから、学校を含む公的機関が発表する情報に基づいた冷静な対応を行い、感染された方やその御家族等への最大限の配慮をお願いします。(罹患したと推測される方への励ましのメール等も状況によっては相手も傷つくこともあります。)



子どもたちには、「病気になる人が早く良くなるよう願う優しい子になってほしい」と思っています。

学校教育目標「胸を張って堂々と生きる」